

米



大阪府 (株)クボタ

『海外現地精米による日本産米の需要拡大』

【主な品目】

コメ(玄米)

【主な輸出先国・地域】

香港、シンガポール、モンゴル他

【輸出取組の概要】

- ◆ 全国各地の稲作農家様と新規需要米(輸出用)を栽培契約したコメを輸出。
- ◆ 海外現地での現地精米体制を確立し、平成24年に香港での日本産米輸出事業を開始。
- ◆ 更なる市場拡大を目的に、平成25年にはシンガポールにも精米工場を建設し進出した。

【輸出実績】(平成24年度より輸出開始)

	輸出量(t)	出荷時期
平成29年度	3,454	通年
平成28年度	2,504	
平成27年度	1,684	

【効果があった取組】

企業CMIにてシンガポールへの米輸出がテーマに取り上げられ、一般消費者からの認知度が向上した。

【取り組む際に生じた課題】

- ・ これまでの輸出米は、ほとんどが国内精米された状態で常温輸出されており、長距離輸送後の現地販売に耐える品質確保が難しいという課題が生じていた。
- ・ 海外現地では日本産米の「計る、研ぐ、浸す、蒸らす」といった炊飯方法は複雑で、炊飯状態での高品質な日本産米の提供は難しい状態であった。

【生じた課題への対応】

- ・ 輸出相手国の需要見通しを立て、品質管理で有利な玄米の低温輸出、現地精米のスキームを確立。
- ・ 飲食店へ全自動洗米炊飯器や酢合わせ機などの厨房機器を提案。

【対応の結果】

- ・ 新たな玄米サプライチェーンを構築し、安心・安全な日本産米を安定的に供給する事が可能となった。
- ・ 日本国内同等の品質で供給が可能となり、顧客満足度が上がり日本からの輸出量拡大に貢献した。
- ・ 業務用炊飯機器の普及により、炊飯品質が向上し、需要拡大に繋がった。

【今後の課題・展望】

- ・ 特定機能性食品等の高付加価値商品を市場投入し、既存市場拡大を図る。
- ・ 多収品種の採用や低コスト生産を実現し、価格対応力の向上を図る。

【活用した支援・施策】 ジェトロ海外商談会(シンガポール、マレーシア)

【ウェブサイト】 (株)クボタ <https://www.kubota.co.jp/index.html>

久保田米業(香港) <http://kubota-rice.com.hk/index.html> KUBOTA RICE INDUSTRY(SGP) <http://kubota-rice.com.sg/>

【連絡先】 担当者名:住中、神田、十河 TEL:06-6648-3809



店頭精米販売イベント



商談会